

英米語学科 中期留学

プログラム区分	中期留学
主幹部署・問合せ先	英米語学科
研修先国・都市名	アイルランド・ダブリン
研修先	ダブリンシティ大学
プログラム概要	<p>英米語学科の中期留学プログラムでは、語学研修とインターンシップが盛り込まれた3ヶ月間の留学プログラムです。</p> <p>英語を母語とするアイルランドで、集中的に英語を学びコミュニケーション能力の向上を図るとともに、インターンシップとホームステイを通じ、現地の風土とアイルランド独自の文化や英語に触れ、異文化理解を深めること、卒業後の進路選択に繋がる職業上の経験を得ることを目標としています。</p> <p>留学先は世界中からの留学生が数多く集まるアイルランドのダブリンシティ大学です。</p> <p>研修の前半は語学学校で集中的に英語を学びます。多国籍なクラスの中で勉強し、また語学学校は大学内にあるため留学生だけでなく現地の学生さんとも交流しやすく、英語に触れる機会は授業内外にあります。</p> <p>研修の後半からは、午前には語学学校での授業、午後からはインターンシップを体験していただきます。現地の人々と共に働き、英語を使って、業務を行います。初めは緊張や不安もありますがしかしそれをやり抜いた時、大きな達成感を味わうことができます。中期留学は3ヶ月と短いですが、語学研修・ホームステイ・インターンシップが体験でき、短いからこそ集中的に学ぶことができるプログラムです。引率者がいるため、初めて海外へ行かれる学生も安心して参加できます。語学を学び、それを活かした経験がしたい！そう思っている学生さんはぜひ挑戦してください。</p>
日程	2027年4月上旬～2027年7月上旬（12週間）
単位認定	最大16単位
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
内容	語学研修：有 語学研修以外の内容：有
引率者の有無	一部
住形態	ホームステイ
参加費用 (概算・見込み)	参加費総額： 1,616,000円/人 大学補助金： 最大240,000円
その他	<p>【必要な語学力、学業成績】 TOEFL450点以上、GPA2.0以上</p> <p>【全額支援制度利用の場合】 TOEFLスコア2回の平均510点以上、・GPA2.0以上</p> <p>【その他】 必要な語学力、学業成績プログラム概要等、上記内容から変更になる場合があります。</p>

体験記

英米語学科 中期留学に参加して

氏名：大塚 咲紀 (2024 年度参加)

私はこの中期留学を通し、英語学習及び人生において様々なことを体験し学ぶことが出来ました。

私は元々アメリカ英語に興味があったので、留学するならアメリカ圏で半年以内が良いと思っていました。しかし今回の中期留学先はアイルランドでした。アイルランド英語にはあまり関心が無かったのでアイルランドに留学するか迷いましたが、以前オーストラリアに春期海外研修で行ったことがあり、アメリカ英語にこだわる必要はないと感じました。加えて就活にあまり支障のない期間での留学は今回が最後だったので、このチャンスを逃すわけにはいかないと同時に、TESS の条件を満たしていたこともあり、この機会を利用したいと思いました。

アイルランドでの生活を通し、気候や建物、食からアイルランド英語まで日本ももちろんですが、オーストラリアとの違いも感じとても驚いたことを覚えています。一番の違いは自然の多さです。緑が多く、景色が鮮やかに感じられたことと、至る所に芝生の公園があり、時間の流れも穏やかでゆっくりとしていた印象です。ダブリンシティセンターも決して大きいわけでは無く徒歩で大抵のところは行けたので、とても便利でした。

DCU での授業はとても興味深く、新しいことも学べました。私は最初 Intermediate/B1 というクラスにいましたが、先生からの推薦でテストを受け、もう一つ上の Upper-intermediate/B2 のクラスに移動しました。レベルが一つ上がると、授業のレベルも格段に上がり、最初はついて行くのに本当に必死でした。まだ耳が慣れず、先生の説明が大まかにしか分からない程度でした。生徒も多国籍になったので、それぞれの国のアクセントや速さ、語彙の違いにより会話することも難しかったです。自分のスピーキング力とリスニング力の低さに自信を失い、本当にこのクラスでやっていけるのか不安になりました。しかし2、3週間経つと、授業形態や耳も慣れてきて、最終的には先生の言っていることがほとんど分かるようになっていました。自分の成長を直に感じられてとても嬉しかったです。B2 での授業はスピーキングの割合が一番多く、私が一番伸ばしたい技能がスピーキングだったので、満足する授業でした。その上既に学習したことのある文法をネイティブの先生から論理に基づいて細かいところまで教えて貰ったので、今までと比べより理解度が増し、場面に応じて使い分けられるようになりました。DCU を通して一番力が付いたのはスピーキング・リスニング力、文法の3つの技能だと思われます。

私のホストファミリーは本当に温かい人達で、ルームメイトとして韓国人、スペイン人の二人とも交流しました。アイルランド・韓国・スペインとそれぞれの文化に触れられ、とても良い経験となりました。ホストファミリーはこれまで何十人もの留学生を受け入れてきた家族であり、特にホストファザーは私の耳が慣れていない最初のうちはゆっくりと話してくれて、とても助かりました。明るく陽気な人で、私を心から歓迎してくれていることが伝わってきて、出会えて良かったと心から思っています。

今までアメリカよりだった私の英語は、語彙がアイルランド英語になり、以前よりも発音や文化に興味を持つようになりました。また、ネイティブの先生による多国籍生徒に囲まれながらのオールイングリッシュの授業は、“English Learner”ではなく“English User”として私にとっても大きな学びを与えてくれました。今回、この中期留学に参加して大変良かったと総合して思います。

